

乾しいたけ栽培技術情報「勝負は今週？」 H22-2

1. 概況と見通し

〔気象〕 ここまで寒い日が続いており、芽切りや、切った芽の生長が遅れていましたが、一か月予報によれば、低温傾向は今週までで、来週以降の気温は平年並み～高めの確率が高いと予想されています。

〔市況〕 ここまで低調でしたが、産地の北上に伴い良品が出始め、冬茹系を中心に値が上がっています。今後もこの傾向は続く予想されており、「岩手らしいきのこ」を出せば、高値も期待できます。市場（お客さん）は岩手産を待っています！！

2. 今後の作業ポイント

(1) ホダ場の管理

- ・ 来週以降の昇温による一斉発生（開傘）が危惧されます。昇温前に芽を生長させておくために、生長が遅れているホダ木には、ビニール系資材（有孔ポリなど）で被覆するなど、保温・保湿を心がけてください。今週前半は、気温が低いながらも陽の射す日があるので、被覆は効果的です。
- ・ 採取が近付いたら、被覆内の温度の上がり過ぎと乾燥には十分に注意してください。（特にマツ林等の明るいホダ場では注意）
- ・ 急に気温が上がる可能性がありますので、散水施設の点検、試運転や、遮光系被覆資材（シルバーポリトウなど）の準備をしてください。
- ・ 気温の変わり目には風が強まることが多いようです。風による乾燥を防ぐために、防風柵の点検や張り増しをしてください。

(2) 採取と乾燥

- ・ 品柄では冬茹が高く、香信でも「輪のしっかりしたもの」が好評です。特に後半以降はホダ場をこまめに巡回し、採り遅れののないよう、ご注意ください。